

高等学校の種類(授業日数や時刻のちがいによるもの)についてです。

①**全日制**…中学校と同じように朝から夕方までの時間に学習します。

②**定時制**…多くは夕方から夜となります。基本は4年で卒業ですが、通信制の授業を併修することで3年で卒業できることもあります。
【公立では、藤井寺工科高校、今宮工科高校など】

③**単位制**…3年間で一定の単位を取得すると卒業できます。受ける授業を自分で選びます。
【公立：中央高校(昼夜間単位制)、市岡高校、大阪府教育センター附属高校など。
私立：YMCA学院高校、長尾谷高校など】

④**多部制単位制**…Ⅰ部(午前の4時間授業)、Ⅱ部(午後の4時間授業)に分かれていて、自分の学習スタイルに合った部に所属します。所属する部で1日4時間の授業を受けることを基本として、4年間での卒業をめざします。所属する部以外の部の授業を受けることや、通信制の科目を併修することなどにより、3年間で卒業することも可能です。【府立大阪わかば高校】※大阪わかば高校は令和2年度に、勝山高校と桃谷高校多部制単位制Ⅰ・Ⅱ部を統合整備し、勝山高校の校地に開校しました。

	1限	2限	3限	4限	5限	6限	7限	8限
Ⅰ部(午前)	1日4時間							
Ⅱ部(午後)		1日6時間			1日6時間			
	1日4時間の授業(4年で卒業)				1日6時間の授業(3年で卒業)			

⑤**通信制**…毎日は通学しないで主に家庭で学習します。スクーリングという登校日に出席し、宿題やレポートの提出が必要です。
【公立：桃谷高校、
私立：YMCA学院高校、天王寺学館高校、長尾谷高校など】

※通信制高校について(引用元:N高等学校ホームページ)

高卒の条件としてまず学校教育法によって定められているのは、3年以上高校に在籍すること、必修科目を含めて74単位以上を取得することなどです。通信制高校でもこの条件が適用されますが、在籍期間は3年以上でも、実際に学校へ通う日数は少ないことが特長です。登校日数は学校によって異なりますが、週に数回から年に数回学校へ行き、学習状況について面談を行ったり分からないことを質問したりするスクーリングを実施します。その他の時間は自宅や学習センターなどで勉強しながら、所定のレポートを提出してテストを受験し、必要な単位を取得していきます。レポートとスクーリング、テストの成績の結果、一定の評価基準に達した場合に単位取得となります。そして単位が必要数を満たした時点で、高卒資格が与えられることになるのです。

レポートとは…

指定されたテキストやネット動画などで自習したことを主にした問題を解く形式のレポートを仕上げ提出するものです。提出したレポートは添削され指導を受けることができます。一般的な科目数を選択している場合は、月に5本から10本程度のレポートを作成することになります。科目ごとに用意されたレポートをきっちり提出することが卒業の条件になっている場合がほとんどです。郵送やネットで提出するのが一般的です。通信制高校は毎日学校に行くわけではありませんので、このレポートがカリキュラムの中心になります。

通信制高校のスクーリング(面接授業)とは…

授業を受ける場所は通信制高校によってさまざまですが、指定されたスクーリング会場に通い、先生から指導を受けられるようになっているのが一般的です。ただし、自由参加ではなく、科目ごとにスクーリングの最低日数や時間が決まっています。それをクリアしないと通信制高校の卒業は認められません。スクーリングで求められる通学日数は、通信制高校によってさまざまです。また、スクーリングのプログラムも通信制高校によって大きく違ってきます。まず、通学日数についてですが月に2回ぐらい登校することが求められる学校もあれば、1年に1回3泊4日の泊りがけで行うという学校もあります。また、原則日曜日で年16回というところもあれば、年間76時間と定めている学校も存在します。気になるスクーリングの内容ですが、こちら学校によってさまざまなカリキュラムが組まれています。一斉授業の場合もあれば個別指導のケースもありますし、中には、体験学習や芸術鑑賞などをスクーリングカリキュラムとしている学校もありますので、自分に合った学校を選ぶと良いでしょう。

サポート校と通信制高校のちがいは？

通信制高校は、自宅などで個別に学習を進め、郵送やインターネットでレポートを提出し、スクーリングを受講し、テストを受けて単位を取得していきます。そのため学年という概念が薄く、自分のペースで学習できることが通信制高校の特長です。個々の状況に応じて柔軟に学習できることが通信制高校メリットです。

サポート校は、通信制高校に通う生徒を支援するために設けられた学びの場(教室)です。大きな駅など、交通の便が良い立地にあることが多く、講師やカウンセラーが所属しています。通信制高校と同時に入学するパターンが多いですが、気をつけたいのは別途学費がかかることです。通学日数は週1~5回程度まで、サポート校ごとにさまざまです。サポート校の目的は、通信制高校を3年で卒業するための支援を行うことであるため、学習支援のための授業を行ったり、学習計画の相談に乗ったり、精神的なケアをしたりします。多様な事情を抱えた生徒たちに対応するためのカウンセラーが所属し、きめ細やかなサポートを行っている場合があります。通信制高校では学校に通う機会が少ないですが、サポート校に通うことが友だちづくりにつながることもあります。ですが、サポート校だけでは高卒資格が取れませんので、高卒資格が必要な人は必ず通信制高校と併修する必要があります。